



No.1047 2007-03-25

日本共産党 須佐支部
電話 2016 fax 2223
kinn2@haginet.ne.jp

命脈を絶つ石塔や藪椿

柳井山甫

句集「郷巡り」より

負担感増大 市民の批判を反映 6議員が反対

ゴミ袋料金引き上げ条例 40円から50円に

ゴミ袋の料金を手数料として位置づけ、その売上げで塵芥処理費用をまかなうという条例案には、前記6議員が反対しました。市民の批判が強いことを示しています。

無料配布を継続するも
今回、ゴミ袋の料金は、40円から50円に引き上げられました。無料配布の枚数は1〜2人世帯は30枚、3〜4人世帯でこれまでどおり50枚、5人以上が60枚と変わります。生活に密着した問題だけに市民の中には、料金引き上げには反対だという声があります。

300億4500万円の一般会計など全議案可決

3月定例萩市議会 終わる

宮内議員は3議案に反対討論

3月定例萩市議会が終わりました。最終日の23日は、一般会計予算を審査した特別委員会や付託された議案の審査をした常任委員会の報告がおこなわれました。

その後、討論がおこなわれ、一般会計には近江議員と宮内議員が反対討論し、小林議員と西島議員が賛成討論しました。宮内議員は、国保事業会計とゴミ袋料金引き上げの条例案にも反対討論しました。

そのあと、表決がおこなわれ、全ての議案が可決され閉会しました。一般会計



市民の予算削って負担を増やし建設事業を確保

一般会計予算について、宮内議員は討論の中で、「300億4500万円の全てに反対するのではない」、「人材育成確保事業や24時間保育、診療所機器整備など市民の暮らしや福祉を維持



していく大事な事業もある」と述べました。

しかし、財政が厳しいということから、市民の暮らしや教育に関する予算を削り、負担を増やす一方で、普通建設事業を45億430

負担は増えるばかり 引き上げはダメ

宮内議員は次のように反対討論しました。

とは市民に負担感をもたらします。

廃棄物の処理及び減量ならびに地域美化に関する条例の一部を改正する条例について反対の立場で討論します。

萩市のゴミ袋無料配布制度は、なかなかすぐれた制度だと思えます。市民にゴミの減量を促す方法としてはよく考えられています。

一定枚数の範囲にゴミを減らせば、手数料はかからないという誘導策は良い方法だと思えます。

また課題であった事業系ごみ処理への対策も見られます。

賛成したいところですが、袋代が40円から50円に25%も引き上げられること



それは市民の負担を重くすること
7000万円の増収？
賛成討論の中で、この手数料化と料金引き上げに対し、「7000万円の増収」という話がありました。新年度予算で上がっている塵芥処理手数料は8497万円、前年度の予算に計上しているゴミ袋売払代は4275万円。どういった計算なのかわかりません。

また問題は、賛成する理由に増収をあげたことです。市の増収は、住民負担が重くなったということですが、だれの立場に立ってものを考えているかすぐにわかることではないでしょうか。

弥富診療所の入院再開してほしい

住民の声を届ける

宮内議員の一般質問の様子を引き続きお知らせします。
弥富診療所の入院施設再開について質しました。



民間医療施設が入院をやめた

須佐、田万川は事実上の飛び地です。この地域には民間医療施設を含め4つの診療所があります。阿武町福賀を入れると5つですが、入院を実施しているのは民間の1つだけです。ところが、その民間診療所も3月いっぱい入院をやめるといふ情報が伝わりました。

小さい診療所では条件厳しい

現状では、1次医療と2次医療の機能分担を基本にすることがいわれ、小さい診療所で入院施設を持つには条件が厳しいことを物語っています。さらに看護士を確保することが非常に困難になっています。

再開にはどんな課題があるか

宮内議員は、次のように

質問しました。

「民間の入院施設がなくなり、住民からは、弥富診療所の入院施設を再開してほしいという要望があります。入院施設のある遠い萩や益田に行くのは大変です。2次医療まで担えなどとは言いませんが、せめて1・5

住民と医師の意向を確認できていない

市長は、住民の意向と医師の意思を確認したわけではないので、すぐに答えられないと述べました。これは、意向を確認すれば考えと受け取って良いと思えます。

さらに、診療報酬や看護士の人数の基準の変更などで、診療所が入院施設をやめる頃が続出している、萩医療圏は、病床数が多く地域医療計画での病床カットがあるなどを述べて、厳しい条件があることを並べました。

次医療ぐらひは過疎地の条件に合わせて必要ではないかと思えます。入院を再開してほしいという要望に対し、市長はどんな方針を持っていますか。」

「再開するにはどんな条件が必要なのかお聞かせください。」

課題については、スタッフの確保、施設、財政的制約などを上げました。そして、

弥富には、やまびこに生活支援施設として8室があり、これを活用することができると述べ、入院の再開については、明言しませんでした。

住民の意思を示すことが大事

市長が住民の意向を確認していないといったことは、確認したいということと同じです。どうしても入院施設

清掃工場

ガス化溶融炉方式に何の根拠も無い

建て替えが課題になっている清掃工場についても質しました。新しい清掃工場のゴミ処理方式について、以前、市長が、ガス化溶融炉が最有力だ」と言ったことを取り上げました。

宮内議員は「いま示されている一般廃棄物処理基本計画(案)の試算の中の数値には、最有力とする根拠は見当たりません。」

環境基本計画(案)の基本である「環境への付加の少

ない循環を基調とする経済社会システムの実現」を図ることを重点に考える必要がありま

どの資料を見ても

最終処分率、リサイクル率、エネルギー消費率、温室効果ガス排出量、施設建設費、維持管理費、萩市の実質負担の資料が示されています。

省エネルギー、温暖化防止、自治体財政負担の低減ということを重視すればガ

ス化溶融炉には行き着きません」

ときつぱりと指摘し、市長の見解を問いました。

もう少し議論したい

野村市長は、「たしかに財政負担は大きい。溶融炉は県に一つぐらいのもの。莫大な負担がかかる。もう少し議論していきたい。選択肢の一つと考えている」と答えました。

市長の回答は明らかにトーンが落ちてきています。

無料法律相談

4月 17日(火)
午後10時～11時30分
サンライフ萩
弁護士が相談を受けます

住民を裏切る公明党

艦載機受け入れを容認



岩国市議会 市長に「現実的対応」を求める決議
岩国市議会は3月議会の最終日・23日、米艦載機の岩国移駐をめぐり、井原勝介市長に現実的な対応を求める決議案を可決しました。これまで米軍艦載機の移駐に反対していた公明党市議団が提案したものの、決議案は「総合的に考えて現実的な対応をする時期になった」とし、「国の安全保障上の施策の重要性を理

解し、現実的かつ効果ある取り組みを要望する」などと、まったく住民を無視し、国の言いなりになることを求めています。これまで、住民投票、市長選挙、市議選挙の三度の審判で、艦載機NOを下した市民をまったく無視する決議で、住民を裏切った公明党市議団に怒りの声が上がっています。